

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成25年度 第18回
開催日時	平成26年1月10日（金曜日） 午後6時30分から8時45分まで
開催場所	田無庁舎 1階 102 会議室
出席者	出席：石崎副委員長、海老澤委員、大竹委員、高田委員、谷関委員、照沼委員、牧田委員、渡辺委員 欠席：渥美委員長、大野委員、小澤委員、後藤委員、島委員、布施委員 事務局：浜名課長、日下部課長補佐兼係長、渡邊主査
議題	1 第17回男女平等参画推進委員会会議録の承認について 2 パブリックコメントの回答と（仮称）西東京市第3次男女平等参画推進計画（素案）への反映について 3 西東京市第3次男女平等参画推進計画（配偶者暴力対策基本計画）（案）について 4 西東京市第3次男女平等参画推進計画（西東京市配偶者暴力対策基本計画）概要版について 5 西東京市第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書について 6 その他
会議資料の名称	資料1 第17回男女平等参画推進委員会会議録（案） 資料2 西東京市第3次男女平等参画推進計画（西東京市配偶者暴力対策基本計画）（素案） 資料3 （仮称）西東京市第3次男女平等参画推進計画（素案）に対するパブリックコメント等の実施結果について 資料4 西東京市第3次男女平等参画推進計画（西東京市配偶者暴力対策基本計画）概要版 資料5 西東京市第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

(開会)

委員は民生委員の任期切れに伴い退任、12月1日付で委員として委嘱した。
副委員長による進行のもと、討議を行った。

議題1 第17回男女平等参画推進委員会会議録の承認について

(委員からの異議はなく、議事録を承認)

議題2 西東京市第3次男女平等参画推進計画(西東京市配偶者暴力対策基本計画)(素案)について

事務局：

資料3を説明。

副委員長：

No.9 条例について、調査研究とあるが、何をさしているか。推進委員会では学習会はなかったと思うが。

事務局：

内藤和美先生を24年1月にお招きして勉強会を実施したのでこのように書かせていただいた。
副委員長：今後も調査研究は続けるか。No.9~11は、3人の意見か一人の意見かわからないが、条例について意見があるがこのままだと表には出ない。反映されず進むということか。

事務局：

検討委員会を設置するとなると条例制定が前提になる。現時点では約束はできない。

委員：

No.7、児童青少年課や教育指導課、教育支援課が入っているが、回答をみると、関係各課となっている。関係各課の中には教育委員会指導課等が入っているという意味か。

事務局：部局の中の代表格の部署を挙げた。直接担当部署を全部書き出すと大変な数になる。庁内の連携会議をつくるにあたっては代表格の部署を中心に、会長が必要と認める課を入れる。

委員：関係各課と書けばなんでも入るが、市民の意見に対する答えとしてはズレてしまうのではないか。

事務局：

メインとなる協働コミュニティ課を書き、あとは関係各課とした。その中には教育指導課等も

入っている。

委員：

回答としては教育委員会指導課も含め様々な課が関わっていると書けば理解してくださるのではないかと思う。

事務局：

事業評価をしてもらうために挙げた課と、実際には連携するが事業評価までは求めない課もあり、関係各課としている。

委員：

条例について、市民はいらだっていると思った。いつまで「設置の検討」で終わっているのか。希望は希望として計画に書いてもいいのではないか。市民の声であらためてそう思った。

副委員長：

もう一度、担当課から働きかけてほしい。

事務局：

計画に明記すると約束になってしまうのでなかなか書けない。一つの方法だが、毎年事業評価を行う中で、条例設置に向けて積極的・具体的にやっていくべきだと言っていくことはできる。

委員：

計画に書いていないと難しいのではないか。将来的には条例が必要だというスタンスで計画に書いてもいいのではないか。内藤先生の学習会では、「条例はあるべきだ」という結論だった。条例をつくる方向で書いてもいいのではないか。

副委員長：

条例制定について大きくとりあげられたという認識で、市長答申の際に口頭でお伝えするか、フォローしていただきたい。

委員：

5年後にはクリアしたい。

事務局：来年度、勉強会を行い、条例制定に向けて力をつけていく、ということによいか。

委員：配偶者暴力対策基本計画について、男女平等参画推進計画の後にカッコをつけた表現にすると、計画の中身が配偶者暴力対策基本計画だけだと思われてしまう。並列にするか、“及び”でつなげた方がよい。あるいは重点項目を並べるとか。

事務局：

タイトルなので、重点項目をいくつも並べるのはおかしい。両計画は同じ立ち位置にある。

委員：

それならカッコは不要である。

○事務局：

「及び」を使っている自治体もある。

委員：

カッコをつけず並列にする案に賛成である。配偶者暴力対策基本計画は男女平等参画推進計画の一部でもあるが、計画としては同じ立場である。カッコに入れると男女平等参画推進計画を言い換えているようなイメージがある。

委員：

カッコに入れると、男女平等参画推進計画は、DV対策のことをやっているだけのよう受け止めてしまうと思う。

副委員長：

カッコをとって並列にする案、「及び」でつなぐ案、事務局案のいずれがよいか。

委員：

2行になっていると並列案はしっくりくるが、1行で書く場合は、「・」や「/」を入れないとまずいのではないか。

副委員長：

市民の意見は、「2つの計画を並列で、一行で書く時は「・」を入れる」ということでお願いしたい。

委員：

パブリックコメントの結果はどのような形で公表されるのか。

事務局：

推進委員会で承認されたが、ホームページで公開する。

副委員長：

承認してよいか。

事務局：

No.1 の意見に対する市の考え方は、さきほど出た結論に従って「西東京市男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画」とする。

副委員長：

条例については、学習会の実施を検討するなどを入れていただきたい。これ以上異議がなければ、これをもって承認とする。

議題3 西東京市第3次男女平等参画推進計画（配偶者暴力対策基本計画）（案）について

○事務局：

資料2を説明。

副委員長：

コラムは推進委員会の要望を入れて修正したとのことである。I-6の目標値は、担当課からは15パーセントにしてほしいとのことである。ページ8の計画の位置づけの図は、コラムではないと思うが、レイアウトがアンバランスである。

委員：

フォントを本文の見出しに合わせればよい。

事務局：

バランスは調整する。

委員：

ページ44、西東京市地域防災計画（平成25年修正）とあるが、平成25年度ではないか。

事務局：

確認する。

委員：

ページ70、ワークライフバランス宣言の副題はこれでよいのか。

事務局：

宣言をそのまま掲載している。

委員：

一部抜粋か、全文か。抜粋なら、その旨を記した方がよい。

事務局：

末尾に労使双方の名前が入っている部分は割愛したが、全文である。全文と入れた方がよい。

副委員長：

ページ 58 の地図は、もう少し大きく、文字が読めるようにしたい。

委員：

駅から徒歩何分などを入れてはどうか。

事務局：

徒歩はかなり時間がかかる。コミュニティバス利用になる。パンフレットには入れていない。

副委員長：

まずは電話で問い合わせてもらおう。

委員：

地図は電話番号の下でもよい。

委員：

ホームページの案内について、トップページではなく西東京市トップページとした方がよい。また、アドレスは細かく書いても入力を間違えるとアクセスできない。

副委員長：

ページ 74 のセンター宣言は、コラムではないのか。

事務局：

コラムではない。過去の推進委員会で検討・承認されたものである。

委員：

第 1 期推進委員会で、下部組織として女性センター検討小委員会をつくった。まだセンターがない時だったので、理想を網羅してできたものである。

副委員長：

勉強会で歴史を語り継いでもらってはどうか。

委員：

I-6の目標値を20パーセント 15パーセントにしたいとのことだが、その根拠は。

事務局：

現実問題として達成が困難である。組織の代表は男性が多い。市民委員については市としても努力できる部分だが、それでも15%が限界である。

委員：

震災後、防災に女性の意見を反映させる意識は高まっている。代表は男性が多いというなら、代表でなくてもよいのではないか。

事務局：

市の努力でできないところがある。

委員：

有識者委員に女性を増やしたらどうか。

事務局：

枠があり、15パーセントが精いっぱいである。

委員：

現在の委員構成を維持しようとするればそうなる。市民の枠を増やすなど、構成を変えないと達成は難しい。そういうアクションを計画に入れなければならない。

委員：

5年後を見据えて高い目標を設定してもよいのではないか。

副委員長：

ここは本当に大きな課題である。知恵を出す方法の一つが条例である。条例制定を言い続ける必要がある。

委員：

推進委員会で委員の構成を変えるという意見が出たことを、危機管理に伝えてほしい。

委員：

会議の構成のあり方について、評価報告書でもコメントしていきたい。

委員：

IV-3の指標について、女性管理職の割合を増やす、ということによいのではないか。「割合の差を小さくする」という表現になっていて、ここだけが非常にあいまいである。

委員：

これを読んだ人は全体の数字だと思うのではないか。

事務局：

一般の人とはまどうだろう。

委員：

混乱する。

委員：

ここだけ表現が違うのもどうかと思う。

事務局：

ここ数年、女性職員は多い。職員の男女比は半々に近いのに、管理職となるとこれだけの差がある。

委員：

説明がないとそうは読めない。

委員：

目標値になっていない。

事務局：

検討する。委員会の意見は尊重する。職員課と調整する。

副委員長：

調整をお願いしたい。女子差別撤廃条約の認知度の目標値が50%というのは、うれしい目標値

である。

委員：

Ⅱ－２の配偶者暴力防止法の認知度の目標値 80%もすばらしい。

委員：

国の目標値は「50 パーセント以上」だ。

委員：

法律ができたばかりの時はメディアにも出るので認知度が上がる。

事務局：

広報の仕方によって認知度は上がる。

委員：

がんばってほしい。数値目標があるとがんばろうと思える。

副委員長：

Ⅰ－６の指標については、担当課に推進委員会の意見を伝えてほしい。

事務局：

数値目標は 15 パーセントでよいか。（異議なし）

副委員長：数値目標については、推進委員会の合意を得たとお伝えいただきたい。

議題 4 西東京市第 3 次男女平等参画推進計画（西東京市配偶者暴力対策基本計画）概要版について

事務局：

資料 4 を説明。

副委員長：

計画名のところは、先の結論の通り修正してほしい。

委員：

ページ 2、位置づけの図は文字が小さくて読みづらい。

事務局：

見える形にする。

委員：

ページ3の囲みはコラムであれば、書体を変えてほしい。

副委員長：

パリテの写真はこれしかないのか。

委員：

いつもパープルリボンの展示の写真なので、パリテ祭りの写真を入れてほしい。

事務局：

人が写っている写真は、肖像権のこともあり、使いにくい。

委員：

概要版には女子差別撤廃条約のことが出てこない。位置づけの図に入れることはできないか。

事務局：

紙面が限られている。

副委員長：

コラムのボリュームを減らすなど、ご検討いただきたい。

議題5 西東京市第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書について

副委員長：

時間がないので、次回の議題としたいがよいか。

事務局：

次回までに各グループから出していただき、全体会にかけていただくというやり方でよいか。

副委員長：

時間を延長して今日話し合った方がよいか。

事務局：

評価については、多少は時間がずれても大丈夫である。

委員：

領域別評価は次回検討するのか。コメントはすべて出ているのか。

事務局：

今日はコメントを出していないグループもある。

副委員長：

今日はここで終了とし、次回、完成させるということにしたい。

事務局：

次回に完成させたい。1月24日までにご意見をいただき、とりまとめて事前に委員に戻す。

委員：

次回、最終となる。修正は誤字・脱字の訂正程度である。事前に見せていただけるのか。

事務局：

メール送信となる。

副委員長：

回回の検討テーマは、計画書および計画書（概要版）の承認、第2次計画のグループ別の評価である。

事務局：

本来なら、グループ別の評価は今日グループワークをやるはずだったが、次回、全体会での検討としたい。

副委員長：

全体会に先立ち、各グループで打ち合わせる時間を設けてはどうか。

事務局：

資料は全体で出すが、グループワークのあと全体会とする。

議題6 その他

事務局：

今回は2月14日である。市長への答申は委員長・副委員長と日程調整する。決定次第、委員に

お知らせする。

副委員長：

市長への答申は、委員が役割分担して、言うべきことを決めた方がよい。なるべく多くの委員に出席していただきたい。

事務局：

次回、計画（案）を承認していただいたら、答申文（案）もあわせて出す。職員課との調整は、ギリギリまでかかると思われる。ご了解いただきたい。

副委員長：

数値目標は、市民にもわかりやすい形で出してほしい。